

必修の基本的事項

大項目	中項目	小項目	
1 医師のプロフェッショナリズム 約4%	A 医の倫理	1 医師の職業倫理指針	
		2 医師憲章	
	B 患者の権利と義務	1 患者の権利と義務	
		2 自己決定権	
		3 インフォームド・コンセント	
		4 セカンドオピニオン	
		5 情報開示	
		6 個人情報の保護	
	C 患者医師関係	1 リスボン宣言	
		2 患者の意向の尊重(患者中心型医療)	
		3 患者・家族の医療への参加(相互参加型医療)	
		4 社会生活機能を重視した医療	
2 社会と医療 約6%	A 医療制度、医療経済	1 医師法	
		2 医療法	
		3 医療保険制度	
		4 介護保険制度	
		5 国民医療費	
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題	1 疾病・障害の概念と構造	
		2 QOL<生活の質、quality of life>	
		3 リハビリテーションの理念	
		4 ノーマライゼーション	
		5 患者・障害者の心理と態度	
		6 心理教育<psychoeducation>	
		7 患者・障害者の社会活動、社会参加	
		8 家族機能	
		9 行動変容、要因分析	
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携	1 職種と社会資源	
		2 職種連携	
	D 医学研究と倫理	1 ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
		2 臨床研究に関する倫理指針	
		3 疫学研究に関する倫理指針	
		4 遺伝子治療臨床研究に関する指針	
	E 臨床試験・治験と倫理性	1 ヘルシンキ宣言	
		2 第I・II・III・IV相試験	
		3 GCP<医薬品の臨床試験実施の基準>	
		4 治験審査委員会・倫理審査委員会<IRB>	
	3 診療情報と諸証明書 約2%	A 診療録、医療記録	1 診療録・医療記録の管理と保存(電子カルテを含む)
			2 診療録の内容
			3 診療情報の開示
			4 プライバシー保護、セキュリティ
			5 問題志向型医療記録<POMR>
			6 SOAP(主観的所見、客観的所見、評価、計画)
B 診療に関する諸記録		1 処方箋	
		2 手術記録	

大項目	中項目	小項目	
		3 検査所見記録	
		4 入院診療計画書	
		5 画像記録	
		6 退院時要約	
		C 診断書、検案書、証明書	1 診断書
			2 出生証明書
	3 死産証書		
	4 死胎検案書		
	5 死亡診断書		
	6 死体検案書		
	4 医療の質と安全の確保 約4%	A 医療の質の確保	1 病院機能評価、国際標準化機構<ISO>
			2 臨床機能評価指標<クリニカルインディケーター>
3 患者満足度			
4 説明同意書、患者説明文書			
5 クリニカルパス			
B 医療事故の防止		1 医療過誤と医療事故	
		2 医療事故の発生要因	
		3 医療安全管理(誤薬、誤認、出血、外傷、感染、電撃、転倒、被曝、褥瘡、自殺企図、無断離院)	
		4 インシデント<ヒヤリハット>、アクシデント	
		5 インシデントレポート、医療事故報告書	
		6 医薬品管理マニュアル(麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理)	
		7 医療廃棄物処理	
		8 医療安全支援センター	
C 院内感染対策		1 院内感染対策委員会	
		2 院内感染サーベイランス	
		3 院内感染対策チーム<ICT>	
		4 標準予防策<standard precautions>	
		5 感染経路別予防策	
		6 抗菌薬の適正使用	
		7 薬剤耐性菌	
		8 針刺し事故	
D 医療裁判		1 医事紛争、賠償	
		2 医療訴訟(刑事裁判、民事裁判)	
E 医薬品・医療機器の副作用・不具合		1 有害事象と副作用	
		2 副作用への対応(報告義務、治療、補償)	
F 血液・血液製剤の安全性		1 使用記録保管義務	
5 人体の構造と機能 約3%		A 周産期	1 遺伝子、染色体
			2 妊娠
	3 分娩		
	4 産褥		
	B 胎児・新生児期	1 循環、呼吸	
		2 胎児の発育	

大項目	中項目	小項目
	C 小児期	1 精神運動発達
		2 栄養
		3 免疫
		4 小児の行動
	D 思春期、青年期	1 思春期発現
		2 生殖機能
		3 思春期の健康問題
	E 壮年期	1 身体正常値
		2 育児
		3 生活習慣と疾病
	F 更年期	1 内分泌、閉経
		2 社会環境
	G 老年期	1 加齢による身体・心理・精神機能の変化
		2 高齢者総合機能評価<CGA>
	6 医療面接 約6%	A 医療面接の意義
2 医療情報の収集		
3 病状説明		
4 教育、調整、動機付け		
B マナー、オープニング		1 身だしなみ
		2 椅子の配置、座り方
		3 礼儀、振舞い
		4 挨拶、自己紹介
		5 患者本人であることの確認
		6 プライバシー・体調・環境への配慮
C 良好なコミュニケーション		1 言語的コミュニケーション
	2 準言語的コミュニケーション	
	3 非言語的コミュニケーション	
	4 傾聴の仕方	
	5 質問法	
	6 面接者の態度(共感的態度、理解的態度、支持的態度、問題解決への援助的態度、評価的態度、解釈的態度、調査的態度、逃避的態度)	
	7 感情面への対応(共感、支持、反映、肯定、尊重、支援、探索)	
D 病歴情報	1 主訴	
	2 現病歴	
	3 常用薬、アレルギー歴	
	4 既往歴	
	5 家族歴、家系図	
	6 嗜好	
	7 生活習慣	
	8 社会歴	
	9 生活環境、家庭環境	
	10 海外渡航歴	
	11 システムレビュー<review of systems>	

大項目	中項目	小項目	
	E 心理・社会的情報	12 プロブレムリスト	
		1 解釈モデル	
		2 心理・社会的状況	
		3 検査や治療に対する希望・好み	
	F 話の伝え方	4 受療行動、対処行動、他医受診、処方内容	
		1 理解の確認、質問の有無の確認	
	G 治療への動機付け	2 悪い知らせの伝え方(SPIKESモデル)	
		1 患者の満足度	
		2 コンプライアンス、アドヒアランス	
	7 主要症候 約15%	A 全身症候	3 意識啓発とその継続
			1 発熱
			2 全身倦怠感
3 食思<欲>不振			
4 体重減少・増加			
5 ショック			
6 意識障害			
7 けいれん			
8 めまい			
9 脱水			
B 皮膚、粘膜		10 浮腫	
		1 皮疹、粘膜疹	
C 頭頸部、感覚器		2 痒痒	
		1 視力障害	
		2 視野異常	
		3 複視	
		4 眼球運動障害	
		5 結膜の発赤(出血、充血)	
		6 聴力障害(難聴)	
		7 耳鳴	
		8 鼻出血	
		9 咽頭痛	
D 呼吸器、心臓、血管		10 嘔声	
		1 咳嗽	
		2 喀痰	
		3 血痰、喀血	
		4 喘鳴	
		5 呼吸困難、息切れ	
		6 チアノーゼ	
		7 胸痛、胸部圧迫感	
		8 失神	
		9 動悸	
		10 頻脈、徐脈	
		11 不整脈	
E 消化器		12 高血圧	
		1 嚥下障害、誤嚥	

大項目	中項目	小項目
		2 腹痛
		3 胸やけ
		4 悪心、嘔吐
		5 吐血、下血
		6 便秘
		7 下痢、(粘)血便
		8 黄疸
		9 腹部膨隆・膨満
		F 血液、造血器、免疫
	2 リンパ節腫脹	
	3 出血傾向	
	G 腎、泌尿器、生殖器	1 乏尿、無尿
		2 多尿
		3 排尿障害
		4 血尿、蛋白尿
		5 月経異常、無月経
		6 性器出血
	H 心理、精神機能	1 記憶障害
		2 思考障害(妄想、強迫)
		3 幻覚
		4 抑うつ、躁状態
		5 不安、恐怖
		6 睡眠障害
	I 神経、運動器	1 構音障害
		2 頭痛、頭重感
		3 運動麻痺、筋力低下
		4 運動失調
		5 不随意運動
		6 歩行障害
		7 感覚障害
		8 腰背部痛
		9 筋肉痛
		10 関節痛
		11 関節腫脹、関節変形
	J 内分泌、代謝、栄養、 乳腺疾患	1 肥満、やせ
		2 乳房のしこり・左右差、皮膚の陥凹
	K 周産期の異常を示す 症状	1 妊娠の異常
		2 分娩の異常
		3 産褥の異常
		4 胎児・新生児の異常
	L 小児特有の全身症状	1 哺乳力低下
		2 体重増加不良
3 活動性低下		
4 啼泣異常		
5 発達の遅れ		

大項目	中項目	小項目
		6 性発達の異常
8 一般的な身体診察 約13%	A 診察のあり方	1 診察前後の標準予防策<standard precautions>
		2 安全への配慮
		3 患者への配慮(プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮)
		4 患者への声かけと例示
	B 診察の基本手技	1 視診
		2 聴診
		3 触診
		4 打診
	C 診察時の患者の体位	1 立位
		2 坐位、半坐位
		3 臥位(仰臥位、腹臥位、側臥位)
		4 砕石位
	D 全身の診察	1 意識状態、精神状態の評価
		2 体格の評価(身長、体重)
		3 バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)
		4 全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)
		5 リンパ節の触診
	E 頭頸部の診察	1 頭部
		2 眼、眼底鏡検査
		3 耳、耳鏡検査、鼻
		4 口唇、口腔、咽頭、扁桃
		5 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺
		6 聴覚検査
	F 胸部の診察	1 胸郭
		2 呼吸音(気管)、副雑音
		3 心音、心雑音
		4 背部の叩打痛
5 乳房		
G 腹部の診察	1 形	
	2 肝、脾、腎	
	3 筋性防御、圧痛、反跳痛<Blumberg徴候>	
	4 腹水	
	5 腸雑音、血管雑音	
H 肛門と直腸の診察		
I 生殖器の診察	1 男性	
	2 女性	
	3 妊婦	
J 筋骨格系の診察	1 四肢、脊柱(彎曲、疼痛)	
	2 関節(可動域、腫脹、疼痛、変形)	
	3 徒手筋力テスト	
K 神経系の診察	1 脳神経系	
	2 髄膜刺激症候(項部硬直、Kernig徴候)	
	3 運動系	

大項目	中項目	小項目
		4 腱反射、病的反射
		5 感覚(痛覚、温度覚、触覚、深部感覚)
	L 四肢の診察	6 小脳機能
		1 浮腫
		2 動脈、静脈
9 検査の基本 約5%	A 意義と目標	1 診断
		2 治療効果判定
	B 検査の倫理と安全	3 スクリーニング、健康診断
		1 実施の説明
	C 検体の採取	2 患者確認と検体の確認
		3 検査の合併症
	D 検体の保存	1 採血
		2 採尿、採便
	E 結果の解釈	3 採痰
		4 穿刺
	F 一般臨床検査	5 生検
		6 擦過
	G 血液学検査	1 保存方法
		2 保存期間
	H 生化学検査	1 基準値、カットオフ値
		2 誤差、生理的変動
	I 免疫血清学検査	3 パニック値と緊急対応
		1 尿検査
	J 遺伝子関連検査	2 糞便検査
		3 胸水・腹水の検査
	K 微生物学検査	4 脳脊髄液検査
		1 血球検査
	L 病理組織学検査、細胞診	2 凝固・線溶検査
		3 血液型、輸血関連検査
	M 動脈血ガス分析	1 一般的な生化学検査
		2 蛋白分画、免疫電気泳動
		1 炎症反応
		2 自己抗体
		3 感染症の血清学的診断
		1 病原体遺伝子<核酸>検査
		2 ヒト遺伝学的検査
		1 採取法
		2 染色法
		3 培養検査
		4 薬剤感受性試験
		5 病原体抗原の迅速検査
		1 細胞診
		2 組織診、生検
		1 適応と採血法
		2 結果の解釈

大項目	中項目	小項目
10 臨床判断の基本 約4%	N 生体機能検査	1 呼吸機能検査
		2 心電図
		3 脈波
		4 内分泌・代謝機能検査
		5 脳波
		6 筋電図、神経伝導速度
	O 画像・内視鏡検査	1 エックス線検査(胸部、腹部、骨)
		2 CT(単純、造影)
		3 超音波検査
		4 磁気共鳴画像<MRI>
		5 核医学検査 (PETを含む)
		6 内視鏡検査
11 初期救急 約9%	A 根拠に基づいた医療 <EBM>	1 患者の問題の定式化
		2 情報収集法
		3 批判的吟味
		4 患者への適用
		5 研究デザイン
		6 メタ分析<メタアナリシス>
		7 診療ガイドライン
		8 エビデンスレベル
	B 臨床疫学的指標	1 内的妥当性、外的妥当性
		2 バイアス、交絡因子
		3 アウトカム
		4 信頼区間
		5 相対危険度<relative risk> (リスク比)、寄与危険度 <attributable risk> (リスク差)、オッズ比<odds ratio>
		6 検査前確率<事前確率>
		7 感度、特異度
		8 検査後確率<事後確率>
		9 尤度比
		10 ROC曲線
	C 誤差と精度	1 正確度
		2 精密度、再現性
	D 基準値	1 基準範囲の概念
		2 生理的変動
		3 性差、年齢差
		4 異常値と原因
E 有効性と効率性	1 費用対効果	
F 医療情報	1 一次情報、二次情報	
	2 検索方法	
A 救急患者の診察	1 バイタルサインの把握	
	2 トリアージ(致命的な病態・疾患・外傷の鑑別)	
	3 重要臓器機能の障害を招く病態・疾患	
	4 外傷患者初期診察	

大項目	中項目	小項目	
		5 緊急治療の要否の判断	
		6 部位別治療優先順位の判断	
		7 来院時<院外>心肺{機能}停止<CPA>	
	B 基本的な救急処置	1 一次救命処置<BLS>	
		2 二次救命処置<ALS>	
		3 気道確保	
		4 人工呼吸	
		5 除細動	
		6 静脈路確保	
		7 酸素療法	
		8 基本的救急医薬品	
		9 止血法	
		10 輸液療法	
		11 輸血	
		12 骨折の固定法	
	C 症状・傷病別の初期対応	1 心肺{機能}停止	
		2 失神、意識障害	
		3 ショック	
		4 けいれん、けいれん重積状態	
		5 頭痛	
		6 高体温、低体温	
		7 運動麻痺、感覚障害	
		8 めまい	
		9 呼吸困難、喘鳴	
		10 胸痛、背部痛	
		11 腹痛、腰痛	
		12 急性消化管出血	
		13 誤飲、誤嚥	
		14 尿閉	
		15 睾丸痛	
		16 創傷、熱傷	
		17 薬物中毒	
		18 重症感染症	
		19 精神科救急	
	D 災害医療	1 大規模災害(地震、津波、事故)	
		2 トリアージ	
	12 主要疾患・症候群 約10%	A 妊娠、周産期の異常	1 正常妊娠、妊娠悪阻
			2 異所性妊娠<子宮外妊娠>
		B 精神・心身医学的疾患	1 うつ病、双極性障害<躁うつ病>
			2 統合失調症
			3 不安障害(パニック障害、社交不安障害)
			4 身体表現性障害(疼痛性障害、心気症)、心身症、ストレス関連障害(外傷後ストレス障害<PTSD>、急性ストレス障害)
C 皮膚・頭頸部疾患		1 湿疹、皮膚炎(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)	

大項目	中項目	小項目
		2 蕁麻疹
		3 薬疹
		4 ウイルス性発疹症(麻疹、風疹、水痘、ヘルペス)
		5 皮膚潰瘍、褥瘡
		6 結膜炎、角膜炎
		7 白内障
		8 緑内障
		9 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化
		10 急性中耳炎
		11 良性発作性頭位眩暈症
		12 アレルギー性鼻炎
		13 急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎
		D 呼吸器・胸壁・縦隔疾患
	2 気管支喘息(小児喘息を含む)	
	3 肺炎、胸膜炎	
	4 慢性閉塞性肺疾患<COPD>	
	5 肺結核	
	6 肺癌	
	7 自然気胸、緊張性気胸	
	8 気道閉塞	
	9 急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>	
	10 睡眠時無呼吸症候群	
	11 肺血栓塞栓症	
	E 心臓・脈管疾患	1 不整脈
		2 先天性心疾患
		3 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)
		4 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症
		5 心筋症
		6 高血圧症
		7 動脈硬化症
		8 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂
		9 末梢性動脈疾患
		10 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤
		11 肺水腫、うっ血性心不全
	F 消化器・腹壁・腹膜疾患	1 胃食道逆流症<GERD>
		2 胃静脈瘤、食道静脈瘤
		3 食道癌
		4 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>
		5 胃癌
		6 急性胃腸炎
		7 便秘症
		8 乳児下痢症
		9 急性虫垂炎
10 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn病)		

大項目	中項目	小項目
		11 機能性消化管障害(機能性ディスぺプシア<FD>、過敏性腸症候群)
		12 大腸癌
		13 痔瘻、痔核
		14 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝
		15 肝硬変、肝不全、肝性脳症
		16 肝癌
		17 胆石症、胆嚢炎、胆管炎
		18 急性膵炎、慢性膵炎
		19 膵癌
		20 鼠径ヘルニア
		21 腸閉塞
		22 腸重積症
		23 汎発性腹膜炎
	G 血液・造血器疾患	1 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
		2 急性白血病、慢性白血病
		3 播種性血管内凝固<DIC>
		4 悪性リンパ腫
	H 腎・泌尿器・生殖器疾患	1 急性糸球体腎炎症候群、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群
		2 急性腎盂腎炎、尿路感染症
		3 糖尿病腎症
		4 急性腎不全、慢性腎不全
		5 腎癌、膀胱癌
		6 尿路結石
		7 前立腺肥大症、前立腺癌
		8 更年期障害
		9 子宮内膜症、月経困難症
		10 子宮筋腫
		11 子宮頸癌
		12 子宮体癌
		13 卵巣癌
	I 神経・運動器疾患	1 認知症
		2 緊張型頭痛、片頭痛
		3 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫
		4 脳梗塞
		5 Parkinson病
		6 髄膜炎、脳炎、脳症
		7 熱性けいれん
		8 てんかん
		9 脳性麻痺
		10 頭部外傷、脊髄損傷
		11 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症
		12 椎間板ヘルニア
		13 肩関節周囲炎

大項目	中項目	小項目
		14 変形性関節症
		15 骨折
	J 内分泌・代謝・栄養 ・乳腺疾患	1 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症
		2 糖尿病
		3 脂質異常症、メタボリックシンドローム
		4 高尿酸血症、痛風
		5 骨粗鬆症
		6 乳癌
	K アレルギー性疾患、 膠原病、免疫病	1 アナフィラキシー
		2 関節リウマチ
	L 感染性疾患	1 敗血症
		2 食中毒
	M 生活環境因子・職業 性因子による疾患	1 アルコール依存症、薬物依存症
		2 熱中症、寒冷による障害
13 治療の基本 約4%	A リハビリテーション	1 日常生活動作<ADL>の評価
		2 種類と適応、リハビリテーション処方
	B 在宅医療と介護	1 環境整備
		2 患者・家族の心理
		3 医療・福祉と介護の連携
		4 在宅酸素療法、在宅栄養療法
		5 在宅での看取り
	C 医用機器と人工臓器	1 種類と適応
		2 原理
	D 輸血	1 種類
		2 適応と合併症
	E 移植	1 種類
		2 適応と合併症
3 免疫抑制薬と拒絶反応		
F 放射線治療	1 種類	
	2 適応と合併症	
G 輸液療法	1 種類	
	2 適応と合併症	
H 栄養療法	1 経口栄養	
	2 経静脈栄養	
	3 経管栄養(経腸栄養、胃瘻<PEG>)	
I 薬物療法	1 処方箋の書き方	
	2 服薬アドヒアランス	
	3 副作用と薬物相互作用	
	4 薬物アレルギー	
	5 基本的な治療薬	
J 褥瘡の処置・治療	1 チーム医療	
	2 予防、評価、治療	
14 基本的手技 約4%	A 一般的手技	1 静脈採血
		2 末梢静脈の血管確保
		3 動脈採血

大項目	中項目	小項目		
		4 穿刺		
		5 胃管の挿入		
		6 尿道ドレーンの挿入		
		7 気道確保		
		B 注射	1 皮内	
		2 皮下		
		3 筋肉		
	C 外科手技	4 静脈		
		1 清潔操作		
		2 縫合		
		3 創の消毒		
		4 創の被覆		
		5 手術介助		
		15 死と終末期ケア 約2%	A 死の判定と診断	1 心臓死、脳死、脳死判定基準
				2 異状死
		3 死亡診断、死体検案		
B 緩和ケア	1 緩和ケアの概念			
	2 全人的苦痛<トータルペイン>			
	3 身体的苦痛の緩和			
	4 精神的苦痛の緩和			
	5 WHO方式3段階除痛ラダー			
	6 ホスピス、緩和ケア病棟<PCU>			
	7 緩和ケアチーム			
	8 家族ケアとチームアプローチ			
C 終末期ケア	1 死に至る心の過程			
	2 終末期患者とのコミュニケーション			
	3 終末期における意志決定の支援			
	4 尊厳死、リビングウィル			
	5 DNAR<do not attempt resuscitation>			
	6 終末期における水分・栄養管理			
	7 延命治療の中止の決定			
	8 安楽死			
	9 家族のケア、グリーフケア			
	10 小児の特殊性			
16 チーム医療 約2%	A 医療機関でのチームワーク	1 医師間の連携		
		2 医師以外の医療専門職の役割		
		3 医師を含む医療専門職の連携		
	B 地域医療でのチームワーク	1 病診連携、病病連携		
		2 保健・医療・福祉・介護・教育の連携		
		3 家族との連携		
		4 クリニカルパス		
	C コンサルテーション	1 自己責任と自分の限界		
	D 社会生活	1 社会復帰		
		2 社会保障制度(所得、介護、障害)		
		3 人的支援		

大項目	中項目	小項目
		4 物的支援(福祉用具)
		5 自立
17 生活習慣とリスク 約5%	A 基本概念	1 国民健康づくり運動
		2 生活習慣病のリスクファクター
		3 健康寿命の延伸とQOL<生活の質、quality of life>の向上
		4 行動変容
		5 健康づくり支援のための環境整備
	B 栄養、食生活	1 食事摂取基準
		2 栄養マネジメント<栄養管理>
		3 食行動
	C 身体活動、運動	1 身体活動とエネルギー消費
		2 運動の効用
	D 休養・心の健康	1 睡眠の質、不眠
		2 ストレス対策
		3 過労予防対策
		4 自殺の予防
	E 喫煙	1 喫煙状況
		2 喫煙の有害性
		3 受動喫煙
		4 禁煙支援
	F 飲酒	1 飲酒状況
		2 飲酒の有害性
		3 アルコール依存への支援
G 生涯設計	1 環境レベル	
	2 知識レベル	
	3 行動レベルと行動変容	
18 一般教養的事項 約2%	A 医学史	
	B 医学・医療に関する人文・社会科学・自然科学・芸術などに関連する一般教養的知識や考え方	
	C 診療に必要な一般的な医学英語	